

■ ご挨拶



一般社団法人 香川県歯科衛生士会
会長 木戸みどり

コロナウイルス感染症の蔓延は、私たちの生活に大きな影響をもたらしています。様々なイベントが中止や延期に追い込まれただけでなく、日々の生活でも我慢を強いられています。そして健康の大切さを誰もが実感し、対応したことはかつてなかったと思います。目に見えないウイルスとの闘いは、幼児から高齢者までの多くの国民が、マスク生活や手洗い、うがい等を徹底できています。人は環境に適応するとはよく言ったものですが、私たちはこの生活を3年も続けて辛抱しています。

一方、このような中で口腔と全身との関係を多くの方に知っていただき、コロナ感染症やその後遺症にも口腔の健康が影響することがわかって、歯科衛生に関心をもっていただいたようにも思います。

さて、有名な論語に「子曰く、学びて思わざれば則ち罔し、思いて学ばざれば則ち殆し」とあります。私達歯科衛生士は、常に日進月歩の歯科医療について行かねばなりません。常に学び続けていく人であり、学びて思い、思いて学び、そしてかつ行動する人である必要があります。

今回から、秋に開催されることになった香川県歯科医学大会には、花田信弘先生をお願いいたしました。2022年骨太方針に示された国民皆歯科健診に私達歯科衛生士がどのようにかわるのかをテーマに、歯科衛生士の社会的使命と役割を学びたいと思います。先生のわかりやすいお話を会員ともども聞く機会を与えていただいた香川県歯科医師会に心より感謝し、多くの会員と共に学びを深めていきたいと思っています。